

# 未来への協働

2022年10月12日(水)  
第351号

発行所 未来への協働  
ホームページ  
https://kyodomirai.org  
〒577-0023  
大阪府東大阪市荒本2丁目14-5  
電話/FAX  
(06) 4306-3512  
郵便振替  
00940-8-213061  
Eメール  
mirai\_newsroom@yahoo.co.jp  
●発行人 山本 康

●第2・4水曜日発行  
●200円(本体182円)  
●定期購読 購読料(送料別)  
1月 400円(送料188円)  
半年 2,400円(送料1,128円)  
1年 4,800円(送料2,256円)

## 今号の主な内容

2面	カジノはいらん東京行動
3面	組合つぶしの工場解体 関生支部が反撃
4面	知花洋子さん あきらめない、静かな怒り
5面	フェミ科研費裁判控審の勝利を
6面	「国葬の2人」と沖縄

紙面へのご意見、感想を  
上記発行所までお寄せください。FAXでも送れます(電話番号と同じ)。詩、短歌、川柳、写真なども募集しています。

扇状地  
哲学者ニール・チェは次の言葉を遺した。「事実というものは存在しない。存在するのは解釈だけである」。

# 国葬失敗に反省の色なし

## 円安・物価高 安倍政権8年の破産

岸田政権が強行した安倍元首相の「国葬」への参列は4183人にとどまり、政府が目論んだ6000人を大幅に下回った。岸田は「弔問外交」の実施を重要な意義と見做したが、先進国主要国の関係については、前の報道各社の世論調査では60〜70%が反対し、事後の調査でも60%近くが「良くなかった」と回答した。同時に岸田内閣の不支持率が50%を超えた。こうして安倍国葬は大方の予想どおり失敗に終わった。

の主要な原因は自民政権が20年来進めてきた、非正規雇用化だ。必要なのは、株主・株主重視の経済・労働政策から抜本的に転換することだ。今年年末には米国の「安倍3文書」(国家安保戦略、防衛大綱、中期防)で、政府は「軍事費対GDP比2%」や敵国への先制攻撃を可能にする「反撃能力の保有」を決



## 安倍政治こそ葬り去ろう

9月27日、安倍元首相の「国葬」当日1時から、神戸・三宮では「市民デモHYOGO」が呼びかけ、国葬に抗議するアピール行動が行われた。(写真上)参加者は80人を超え横断幕やプラカードを持ち、「国葬に反対」「安倍政治こそ葬れ」「税金を使うな」など10数人がリレーで訴えた。

さまざまな見方があるという事だ。特に、歴史的な事件は相対的な解釈が可能である▼安倍晋三・元首相が山上徹也容疑者に銃撃され殺された時に、頭をよぎった。日本初代総理大臣・伊藤博文のことだ。1909年10月26日、伊藤がハルビン駅に降り立った時、韓国人・安重根によって撃ち殺された。日本では伊藤は偉人、安はテロリスト。韓国では伊藤は侵略者、安は愛国の義士である▼伊藤はまた、若い頃イギリス公使館焼き打ちや増田忠実、加藤甲次郎を殺したとされるテロリストである。戦後、伊藤は千円札の肖像になった。安は韓国で200ウォン切手の肖像になっている。伊藤は国葬にされ、安は絞首刑になった▼翻って今回の安倍「国葬」。山上徹也の悲しみ、苦しみを踏みつぶしてしまった。歴史は権力者に都合よくつくられる。見本のような「国葬」だった。



「国葬」当日、抗議のために国会正門前に続々と集まる市民たち。この日1万5000人が参加した=9月27日、東京都千代田区/読者提供

問は岸田政権にこの失敗を真摯に反省しようという姿勢が見られる一方だった。低賃金



「テロリスト・ミャンマー軍を招待するな」横断幕を掲げて抗議するミャンマー人たちは9月26日、神戸市

## 「国軍を国葬に呼ばないで」

### 在日ミャンマー人が抗議

安倍国葬前日の9月26日、神戸市で在日ミャンマー人たちが、日本政府に呼ばないでほしい。②が国軍政府を「国葬」に招請したことに対し「国軍政府は、私たちの政府ではない」とスタンディングで抗議した。約50人が参加した。ミャンマー人たちの訴えは次の2点。①軍事クーデターを起し、民主化を求める人びとを暴力的に殺害する国軍政府は私たちの政

府ではない。日本は国軍政府を認めず安倍国葬に呼ばないでほしい。②が国軍政府への財政的支援を止めてほしい。ミャンマーの現状を伝える報道番組で、「世界は、ウクライナ一辺倒。ミャンマーの問題は置き去り」と話していた現地の若い女性の姿が重なる。この日は全国各地で抗議行動があった。(村)

議行動があった。(村)

# カジノはいらん！ 東京大行動 国会前で200人声上げる

9月30日



衆議院第二議院会館前に座り込んで「カジノ誘致反対」を訴える東京大行動の参加者たち=9月30日、東京都千代田区

9月30日11時。衆議院第二議院会館前に到着するとすでに準備が始まっています。「9・30カジノは日本のどこにもいらない！ 東京大行動」です。前日夜、大阪を出発した車が議員会館前で荷物を下ろして立っていました。幟やプラカードを立て掛け、新調した横断幕を広げている間に参加者が増え続け、200人に。大阪など関西だけでなく、長崎、和歌山、横浜からもカジノ誘致に反対して活動している人たちが集いました。正午から午後2時まで議員会館前で座り込み集会。2時半からは参議院会館の会議室を借りて国交省と交渉。同じ場所で3時半過ぎから院内集会。その後、記者会見を行って、終了後は日比谷公園に移動。銀座を通過して東京駅までデモ行進しました。

【解説】カジノ誘致を進めようとする自治体では、住民らによる誘致計画の見直しと撤回をもとめる運動が取り組まれてきた。横浜市と和歌山市ではカジノ誘致計画が撤回された。誘致に手をあげている大阪府と長崎県の「区域整備計画」は現在、審査委員会で審査中。大阪府下では「カジノの是非を問う住民投票」の実現に向けた直接請求署名20万8552筆集まり、直接請求に必要な

な法定数14万6500筆（有権者の50分の1）を大きく上回った。請求を受けた吉村洋文大阪府知事は7月29日に臨時府議会を開き、住民投票条例案を維新・公明の多数で即日否決した。わざわざ1日で住民の請求を否決するのは異例。横浜市では臨時市議会は3日間開かれた。和歌山市議会では常任委員会に付託されて委員会審議を経て、後日、本会議で採決された。

でカジノに反対している人たちが一堂に会して交流したことです。長崎が加わったことで、カジノを日本のどこにも作らせないという人たちの繋がりがより強固になりました。今後、このつながりをもっと拡大していけば、カジノ導入計画をつぶすことも夢ではないと思います。国交省交渉では長崎の住民団体の方が意見を述べ、持参した署名2000筆を担当者に直接手渡す場面もありました。国交省交渉の詳細は次号で。（池内潤子）

## 汚染は瀬戸内に拡がる 伊方原発の運転差止めを 広島地裁

広島地裁



高東征二さん=9月14日、広島市

伊方原発の運転差止めを求めた広島訴訟、第29回口頭弁論が広島地裁で行なわれた（9月14日）。弁護側からは「立証責任を求めた」と準備書面が提出された。原告意見陳述に立った高東征二さん（黒い雨）被爆者は、「伊方3号機が運転を続けている。事故が起こったらどうなるか。さえないものもな

い瀬戸内海。放出された放射能は100キロしか離れていない広島にも確実に届き、内部被曝に晒される。黒い雨、福島事故被害と同じ。絶対に阻止しなくては。まず運転を止める。私が原告となった理由だ」と述べた。記者会見・報告会では高東さん意見陳述の内容が紹介され、弁護団による前回準備書面の一部解説があった。

青森からズーム参加した「高レベル放射性廃棄物の最終処分場としない条例制定を求める県民の会」共同代表、核燃サ側から準備書面「火山事象に対する安全の欠如」の補足説明がスライド映写しながら行なわれた（9月15日）。

「伊方原発をとめる山口裁判の会」の報告会では、準備書面の説明、質問などの後、「上関原発に反対する祝島島民の会」に対する妨害予防請求の調停が中国電力によって申し立てられた」と報告があり、参加者から怒りの声があがった。5日、調停は不成立で終了した。（江田 宏）

## 声 国葬反対に手応え

長崎 道端民男

田中重光さん（被爆者の悲願は改憲。国葬は改憲に反対）が9月20日夕方開かれた。会場は長崎市の中心部、浜町アーケードの西側にある「鉄橋」上。主催は実行委で約150人が参加。NHKと民放が取材。集会後の練り歩きがニュースで流されました。集会の発言をいくつか紹介します。

川野浩一さん（被爆者）が「天候にも恵まれ「9・30東京大行動」は成功裏に終わりました。何よりの成果は、大阪、和歌山、横浜、長崎と日本中

田中重光さん（被爆者の悲願は改憲。国葬は改憲に反対）が9月20日夕方開かれた。会場は長崎市の中心部、浜町アーケードの西側にある「鉄橋」上。主催は実行委で約150人が参加。NHKと民放が取材。集会後の練り歩きがニュースで流されました。集会の発言をいくつか紹介します。

長崎平和運動センター議長「国民は圧倒的に反対。国民の大多数が賛成しない国葬は国葬ではない。人の死を政治利用するな」

治が許されているのか」には8回とも行かなかった。核共有主張の安倍を争が打ち抜かれた意義は大きいと思います。手応えを感じています。27日の国葬当日は同じ坂本浩さん（長崎県議、場所、約200人が座り込み行動で反対の意志を示しました。特別扱いするのか。安倍を

安倍の死を自公政権の側が逆手にとって巻き返しをはかろうとするもの。危機意識を露わにした、戦争賛成を自指した一大攻撃です。安倍を美化し、戦争への道を掃き清めてきた「功績」を継承するものです。首都東京を戒厳下において自らの意志を貫こうとしています。

全国、各領域で反対の声が大きく上がっているように。今が声を上げ闘うときです。「水に落ちた犬はしこたま叩かねばなりません」

自民と統一教会は融合していません。私は、ここ1〜2年ほど「自民はとことん腐っている」と強く思っていました。その根拠がこの間どんどん明らかになっていきます。腐ったものは激しく戦争に向かいます。

朝鮮と中国の脅威を喧伝して日米軍事同盟の強化を正当化する戦争勢力を許してはいけません。自公と統一教会を解体に追い込む闘いを、労働者住民の力を合わせて作り出す時だと思えます。

気がかりなこと

山上君を「山上」と呼び捨てにしている左派の文章を目にしました。私

の深部からの一大鉄槌ではないでしょうか。そんな彼を非難したり、冷たく突き放すことはしたくないと思っています。

# 組合つぶしの工場解体

## 「必ず勝つ」関生支部が決意



集会で決意表明する高槻生コン分会の仲間たち。左端は永田博分会長＝9月30日、大阪府高槻市

大阪府高槻市で、組合をつぶすために生コン工場を丸ごと解体するといふ前代未聞の事件が起きている。この攻撃と闘う連帯ユニオン関西地区生コン支部（関生支部）の決起集会が9月30日、高槻市で開かれ167人が参加した。

この高槻生コンの経営者が今年6月、組合にたいする説明もなく工場を京南生コン社に売却。7月には京南生コンは重機を導入して工場の解体を始めたのである。京南生コンの経営者は、大阪広域生コンクリート協同組合（広域協）の副理事長で、関生支部つぶしを主導してきた人物だ。今度は組合の拠点をつぶすために、職場そのものを消滅させるという暴挙に出たのである。

解体工事ではさまざま問題が生じていた。セメントが野ざらしで放置されたため、強アルカリ性の水酸化カルシウムが溶け出し工場周辺に流出した。汚染水のPH値は12〜14。これは漂白剤と同等かその10倍以上の強アルカリ性だ。工場周辺は農地が広がっており、近くを流れる櫛尾川はゲンジボタルの生息地だ。強アルカリ汚染水による影響は看過できない。

また同工場では放射性同位元素カリホルニウム252によって測定する骨材表面水量計を使用していた。カリホルニウム252は中性子線を発するため、原子力規制委員会への届出が必要だ。その放射線源が、解体工事の過程で行方不明になっているという。関生支部はこうした環境汚染や放射線源の行方についても徹底的に追及する構えである。

9月30日の集会では高槻生コン分会の仲間が全員登壇して決意表明した。湯川裕司関生支部執行委員長のあいさつと高槻生コン分会の永田博分会長の発言を紹介する。（葉月馨）

「あらゆる反撃を開始する」  
連帯ユニオン関生支部 湯川裕司執行委員長  
高槻生コンは関生支部の牙城です。そこを広域協がつぶしに来たのです。工場の解体工事では違法行為がまかり通っています。どんな不法なことでも、金を持っている、政治家と仲がよく、権力と結託していれば何でも大目に見てもらえる。今のゆがんだ日本の権力を象徴するようなことが起きています。私たちは分会とともに最後の最後まであきらめることなく闘います。関生の歴史は50年。世代交代した新体制は今年の10月で2年目になりませんが、関生のスタイルは変えませんが、建前ではなく本音の運動をします。

「高槻生コンの」社長は、組合が推薦した雇われ社長です。労働組合が20数年運営してきた会社です。昨年10月の組合定期大会の後から生コンの出荷を広域協からとめられました。その後、組合・分会に一切報告なく、広域協の土俵で会社集約するという情報が入りました。組合にも相談せず、雇われ社長が一方的に協がつぶしに来たのです。社長は広域協の副理事長に1千万円で工場を売却しました。生コン工場が土地・動産付きで1千万円で売却されることは絶対にありません。その後、副理事長は私たちの工場を解体し始めました。現在では組合名義の事務所を残してすべて解体されました。話し合いもせず、工場まで解体し、私たちの職場を奪い取るやり方を絶対に許しません。分会員全員は今後も経営再開に向けて職場を守るために、勝利するまでたたかい抜きます。

## 「菊池事件」ハンセン病と冤罪①

### 「殺人犯」にされたFさん

はじめに  
1951年と52年に熊本県で起きた「菊池事件」を知っていますか。この事件を理解するために、日本のハンセン病対策の流れを知ることが必要です。

ハンセン病は感染力、発症力の弱い慢性感染症です。思春期に発症することが多く、男性の患者が女性より多い傾向にあります。感染により、末梢神経・皮膚・眼が冒され、手足の変形や顔貌の変化、失明に至る等の症状が現れるために、世界的に差別偏見の歴史があります。

1873年、ノルウェーのアルマウエル・ハートと火葬場。療養所という名の刑務所でした。治療ではなく、患者懲罰の場でした。患者の生活を支える作業も、患者が担わされました。男性には断種手術、女性には墮胎が強制され、産まれた子どもを育てることも許されませんでした。

1962年9月14日の朝。無実を訴えていた男性が国立療養所・菊池恵楓園に設置されていた熊本措置支所から、福岡刑務所へ護送されました。そのFさんを乗せた護送車は昼前に福岡刑務所に到着。所内にあった拘留区に連れられ、死刑執行の宣告を受けました。教師の立ち合いもなく、午後1時に絞首台にかけられ1時7分絶命。再び全国的に「無らい県運動」が展開されました。「菊池事件」の発生した熊本県菊池恵楓園では、押印したのが9月11日。Fさんの三度目の再審請求が棄却された翌日、押印からわずか3日でした。事件の詳細は次回「無らい県運動」最中で。



「F氏を救う会」が行った菊池事件現地調査の様子＝1962年8月25日、国立療養所菊池恵楓園歴史資料館HPより転載

**インフォメーション**

10月22日(土)  
とめよう！戦争への道・めざそう！アジアの平和 2022秋関西のついで

- 午後1時半開場 午後1時50分開会
- 午後3時35分開会 閉会後デモ予定
- エルシアター(エルおおさか2F)

※地下鉄谷町線・京阪電車「天満橋駅」より西へ300メートル

講演：新垣邦男さん(衆議院議員)  
佐々木寛さん(新潟国際情報大学国際学部教授)

資料代：500円(中高生・介助者無料)  
※手話通訳あり

主催：とめよう！戦争への道・めざそう！アジアの平和 2022秋関西のついで実行委員会

連載 「復帰」50年 沖縄の旅

# わたちの『日の丸』焼き捨て事件

③

沖縄の旅の2日目、午前中は富樫守さん(本紙「トガシさんの『沖縄便り』の筆者)に読谷村を案内していただき、今夜の宿、波平にある知花昌一さんと洋子さんが1999年から開いている民宿「何我舎」に到着。経営は長男の昌太郎さんに譲っているが、洋子さんは宿泊室の掃除や洗濯、長女の未来世さんのデイサービスへの送迎などとても忙しい。夕方は昌太郎夫妻と子どもたち3人も来て賑やかなバーベキュー。一段落して昌太郎さんも一緒に話を聞いた。

知花洋子さん

## あきらめない、静かな怒り

女の強さというのかな

「事件」当日の早朝、昌一は「じゃ」とだけ言って(経営するハンザ・スパー)の仕事に出て行った。(当時、洋子さんは出産間際。前の晩、昌一さんは自分の思いをじつ



息子の昌太郎さんを抱いて公判の傍聴に臨む知花洋子さん=1988年春、那覇地裁前/筆者撮影

人間って出会いだね

盛康さんと昌一は同志

お父さん(昌一さん)

知花盛康さんが、ずっと

たち団塊の世代の青春は輝いていた。あの時代に生まれた人たちは幸いだね(洋子さんは6歳年下)。この人と会わなかったら政治に関心を持たなかったかもしれない。私は波平の隣の部落の育ち。(昌一さんとの)出会いは、知り合いのおばさんの紹介だった。その人は「事件」のあと「ごめんね」って言ってきた。昌一は商売でがんばっていた人だと思っていた。最初に会った時、「ぼくは刑務所に入ったことがある」と言われて、こんな田舎にもそんな人がいるのって。飾らない、自然体のところが好感を持って出会って3カ月で結婚

と後になって「思わぬところでつかまって、どうせなら自分がやればよかったな」と言って、昌一が「お前でもよかったな」なんて笑い話になったけれど、艶子さんはほんとうに大変だったと思う。2人の裁判は、弁護団も支援もいつもみんな一緒にやって、共に勝ちとって来たからよかった。だから盛康さんと昌一はほんとの同志だね。兄弟よりも濃いっていうか。今もよく訪ねてみたい。こんなふうにある頃の話をするとうれい。苦しい出来事だったけれど、気持ちは、なん

子どもたちには(親たちの経験や思いは)無理強いはいらない。本人が自分で聞こうと思つた時に聞いてくるようになるものだから。

子どもたちには(親たちの経験や思いは)無理強いはいらない。本人が自分で聞こうと思つた時に聞いてくるようになるものだから。

山内徳信さん(当時の読谷村長(のち衆院議員)の回顧録には「日の丸」の焼くことは一行も書い

たが、「実際に生き残った人たちから話を聞いていない、また同じようにするつもりもない。自分

くり伝えたそうだ。翌日に長男昌太郎さんが生ま

その後、右翼が村に毎日押しかけて、店にもうちにも押しつけてきた。おじいはい少し気弱になっ

て出合って3カ月で結婚した。人間って出会いだね。彼のもともとはアヘンだ」と言っていた。追いついた。女の強さかねえ。た

子どもたちには(親たちの経験や思いは)無理強いはいらない。本人が自分で聞こうと思つた時に聞いてくるようになるものだから。

子どもたちには(親たちの経験や思いは)無理強いはいらない。本人が自分で聞こうと思つた時に聞いてくるようになるものだから。

山内徳信さん(当時の読谷村長(のち衆院議員)の回顧録には「日の丸」の焼くことは一行も書い

たが、「実際に生き残った人たちから話を聞いていない、また同じようにするつもりもない。自分

「事件」当日の早朝、昌一は「じゃ」とだけ言って(経営するハンザ・スパー)の仕事に出て行った。(当時、洋子さんは出産間際。前の晩、昌一さんは自分の思いをじつ

「事件」のあと「ごめんね」って言ってきた。昌一は商売でがんばっていた人だと思っていた。最初に会った時、「ぼくは刑務所に入ったことがある」と言われて、こんな田舎にもそんな人がいるのって。飾らない、自然体のところが好感を持って出会って3カ月で結婚

子どもたちには(親たちの経験や思いは)無理強いはいらない。本人が自分で聞こうと思つた時に聞いてくるようになるものだから。

子どもたちには(親たちの経験や思いは)無理強いはいらない。本人が自分で聞こうと思つた時に聞いてくるようになるものだから。

山内徳信さん(当時の読谷村長(のち衆院議員)の回顧録には「日の丸」の焼くことは一行も書い

たが、「実際に生き残った人たちから話を聞いていない、また同じようにするつもりもない。自分

### closeup

## 軍拡・改憲とどう立ち向かう

### 参院選・安倍銃撃事件

誰が民主主義を壊したのか

9月25日、神戸市で開かれた講演会で関西大教授の高作正博さんが参院選、安倍銃撃事件、その後の世論、民主主義をめぐり問題などについて話した。(要約/竹田)

参院選では自公、維新、国民の「改憲4党」が改選125のうち93議席を獲得し、3分の2超となった。自民は単独過半数。非改選も合わせ「改

憲勢力」は177議席3分の2(166)を占め、数々の公文書改ざん、隠蔽、破棄。「ていねいにとはいかない状況だ。安倍銃撃事件の直後か切答えない国会無視。それ

ら岸田政権は「民主主義の破壊」「民主主義の根幹たる選挙中の卑劣な蛮行」と表明していたが違和感を否めない。民主主義を破壊してきたのは案にも及んでいた。

山内徳信さん(当時の読谷村長(のち衆院議員)の回顧録には「日の丸」の焼くことは一行も書い

たが、「実際に生き残った人たちから話を聞いていない、また同じようにするつもりもない。自分

は自分らしく若い感性でメッセージを伝えられればと思っている」と話す。洋子さんは「これは母として思い描いていたこと」だともうれしそう。読谷の人びとの歴史、親たちのぶれない生き方が、次の世代を確実に育てているのだと思う。

翌日は名護へ。6時半には洋子さんが卵のたっぷり入ったサンドイッチを作って下さっていた。それをいただいて緑に囲まれた何我舎を出発した。(山野 薫)

9月、沖縄県知事選で動のための緊急時における民間施設の使用の改善」が返還条件に入っている。これをクリアしなければ辺野古が完成しても普天間返還はない。「民主主義の自壊」は、人びとが共通の「空間」を喪失したことで進行してきた。これに対して「連帯の再構築」が必要だ。ポピュリズムの台頭は共通の「事実、真実」の喪失でもある。何が事実で、何が真実か。そこを曖昧にしてはならない。

### 性搾取される少女たち

前回につづいて、仁藤夢乃さんの講演から。仁藤さんが代表をつとめる一般社団法人Colaboは2016年から、児童買春の実態を伝える「私たちは「買われた」展」を行ってきた。それは、Colaboとつながっていた少女が「慰安婦」被害者の写真展をみたことをきっかけに始まった。彼女は、サブバイバーと自分自身を重ね合わせていた。

「金欲しや」「遊び」でやっていると言われていた少女たちが、実際には性搾取や性被害を受けていることを、もっと知ってもらいたいと企画された。企画展は今も各地を巡回している。

行き場のない少女たちに、相談に乗るフリをして声をかけてくるのは性売買のあっせん業者か買春者だけだ。その実態が見えないために、「売る方が悪い」と女性だけが責められる。そして被害者である女性たちは「抵抗できなかった自分が悪い」と思いこまされる。

加害者はそのにつけこむ。それは加害者だけの問題でない。「加害しやすいう状況が放置されている社会的問題なのだ」と仁藤さんは訴える。

例えば「援助交際」という言葉。韓国の活動家はそれを「児童性搾取」とはっきり言ったそう。また、金銭を介することで暴力が正当化される。し、そこからこぼれ落ちる少女たちは多い。これ

「お金をあげるから」と言っ

て人を殴れば、殴った方が悪いのは誰が見てもわかること。しかしこれが性売買になると、買春者が被害者つらして、「売った方が悪い」と訴えることが罷り通っている。

最近の「パパ活」議員もその一人。買春する男性のほうを守られてきた社会なのである。日本社会はまるで国家ぐるみの性売買斡旋業者なのかとさえ感じる。

企画展でこうした社会状況を浮き彫りにした仁藤さんたちは、さらに凄まじい誹謗中傷にさらされるようになった。それは、「慰安婦」被害者の告発に対して、「嘘だ」と否定することと重なる。

一方、企画展には最初の10日間で3000人が来場したが、そのうち300人が「私も同じだ」と胸の内を明かしてくれた。以前から「自己

## 記憶されない歴史は繰り返される (下)

私たちは「買われた」展 浅田洋二

「売った方が悪い」

売春防止法は、「女性が社会の風俗を乱す行為

責任」に苦しんできた多くの女性たちと繋がる機会になったのである。苦しみを可視化する

Colaboの活動を通して、性搾取に苦しむ少女たちの存在が可視化され、国や都などでも支援の取り組みが始まった。しかし、そこからこぼれ落ちる少女たちは多い。これまで公的機関は彼女たちを「非行少女」として補導し、厳しい対応で「保護」「更生」させようとしてきた。そのため、子どもたちが公的機関の「保護」を避けてきた。

孤立し困窮し苦しむ若い女性たちはまだまだ多いし、支援は不足している。さらにコロナ禍で女性の貧困が深刻化し、自殺者が増えた。女性に犠牲が集中する社会構造の中で、苦況に立つ女性に性売買が間口を広げて待っている。仁藤さんは、こうした構造をなんとかして変えていきたいと語った。

私はこれまで「慰安婦」問題を戦争責任、植民地支配に重きを置いてとらえてきた。しかし、ここ数年の取り組みや今回の講演を聞いて根本的な部分を軽視していたのかも

しれないと思うようになった。女性差別こそ土台にあるということである。それが戦時下でより激しく、特に弱いと見なされた少女たちに降りかかった暴力が「慰安婦」問題なのだ。8月14日の集会でそのことであらためて気づかされた。

（おわり）

## 「ママは海を守りたい あなたは？」 辺野古行動・神戸



署名数22筆、チラシ配布150枚(写真上)。沖縄・読谷出身で滋賀県で結婚した女性が署名。読谷は知花さん、山内徳信さんがね…という話しが盛り上がった。10月1日(土)参加者が16名、署名29筆、チラシ配布は180枚。みんな署名をしてくれた家族名も目立った。

別の親子は、「ママはきれいな海を守りたいから署名するけど、あなたは何？」という問いかけに、子どもは少し考えながら「ぼくも海を守りたい」と署名した。年配の人が、「米軍基地の加重な負担に心痛めている」と。若い人たちの署名も目立った。

## 荒野を切り拓く女たちの叫び フェミ科研費裁判 控訴審の勝利を

10月7日、フェミ科研費裁判の控訴審第一回公判が大阪高裁で開かれた。控訴審に先立ち9月18日、裁判支援の会は谷口真由美さん(法学者)のオンライン講演会を開催。谷口さんは、メディアにも積極的に登場、付加のまん延する社会に歯を必要。科研費というものは申請してから、他の何人も研究者が審査し、その研究に意義が見いだされて採択されるもの。審査員である研究者は自分の主義主張ではなく、科学的な研究として成り立つかどうかと要しと訴えた。上瀬治子弁護士は、「歴史修正主義の目指すものは改ざん、つまりあったことをなかったことにすること

にある。「慰安婦」問題はなかったことにしたいから、その研究などあってはならないということになる」と語り、「2審で真っ向からたたかう。だ。

## フェミ科研費裁判 控訴審の勝利を

何一つ論拠も示さず原告達の研究を罵倒した。原告の理を尽くした訴えに一切答えず棄却した京都地裁の判断は、学問の世界すべてへの攻撃ともいえる」と指摘。「荒野を切り拓くようにたたかってこられた先輩諸姉に心から敬意を送り、裁判勝利のためにもがんばる」

原告の伊田久美子さん(大阪府大学名誉教授)は、「100年の歴史がある科研費にジェンダー項目が入ったのは2000年代になってから。女たちがやっている研究は研究ではないと言われ続け、『おっさんの壁』に苦しめられた。司法は場外からの監視が必ず」と訴えた。上瀬治子弁護士は、「歴史修正主義の目指すものは改ざん、つまりあったことをなかったことにすること

## フェミ科研費裁判支援の会のロゴ

フェミ科研費裁判支援の会のロゴ

フェミ科研費裁判支援の会のロゴ

## フェミ科研費裁判支援の会のロゴ

フェミ科研費裁判支援の会のロゴ

フェミ科研費裁判支援の会のロゴ

## フェミ科研費裁判支援の会のロゴ

フェミ科研費裁判支援の会のロゴ

フェミ科研費裁判支援の会のロゴ

トガシさんの「沖縄便り」④

# 「国葬の2人」と沖縄

ゲート前は3000日

9月22日、辺野古ゲ

ト前座り込み3000日の節目であった。ゲート前は、3列の座り込みができた。

しかし、辺野古を含む沖繩の状況は芳しくない。9月16日、国は宮古・八重山など先島にシェルター設置を検討している

## 沖繩に痛み「業績は大」

1%以内という従来の方針を突破し、6兆円を指している。シエルターに係わる費用も計上されているのだろうか。ミサ

イル配備をはじめ「南西諸島の防衛」という名目に違いない。

昨年(21年)12月1日、台湾で開かれたシンポジウムに日本からオンライン参加した安倍元総理は、「台湾有事は日本にとって重要な節目である」と発言した。安保法制など戦争

がでる国造りをしてきた元総理の発言は、シエルターの現実味を帯びさせた。

その安倍元総理の業績が大なるものがあったと、戦後2例目になる国葬がない外交チャンスでもない

行われた。安倍元総理は辺野古埋め立てを強引に進めた人物としても記憶される。戦後の国葬一例目が吉田茂である。サンフランシスコ講和条約を成し遂げたというが、講和条約は沖縄を米軍統治にまかせた。吉田茂、安倍晋三の2人は沖縄の視点から見ると、沖縄に痛みを与えることを業績として国葬にされた。



地下シェルターへの階段 (写真は本文と関係ありません)

あった。そうならなかった。たとえば相手が気に入らなくても話し合いができるようにしなければ、物事は始まらない。

## シエルターの意味

戦争がいかに悲惨か。戦争は人間を人間でなくする。いったん始まると止めるのは難しい。戦争の勝利者はいないと、数々の教訓を得ている私たちに。「日本有事」

という言葉に、緊張感を失ってはいないだろうか。「日本有事」とは日本も戦争に参加すること、まず先島や沖縄本島が戦場になることである。国がシエルターを検討して

10月1日は第1土曜日、県民行動日であった。コロナで中止が続いている野古新基地建設を強引に進めていることと関連していると考えなければ

「日本有事」事であった。(富樫 守)

# まい・しよっと (37)



奇妙なオブジェ (本紙317号に「奇妙な銅像」)、その2。銘板に「カルタゴ」とある。現在のチュニジアにあった古代都市。ローマとの戦争で廃墟になったが、美しい港町として再生した。「大震災から復活してほしい」と作られたらしい。亀か犀か、空想の動物か、わからない。製作・設置は1997年。

(撮影：9月、神戸市内／あきお)

## 川柳

のぶき

金よりもカネの輪輝く五輪とは  
壊れゆく奇跡の星の温暖化  
太陽は怒っているぞ地球人  
悪徳の神が「家庭の平和」言う  
しみじみと演歌しみ入る辛き日に  
諦める遠出の旅やレストラン  
澄んだ酒折れた心に沁みとおり  
小さき眼 赤子の笑みに頬ゆるむ  
どんぐりの帽子脱がせば坊主かな  
愁う間なく介護の一日きょうも暮れ  
円楽に猪木も逝きて秋きたる  
ジッパチの弁天橋を忘れまい

選択的夫婦別姓について、政府・自民党、右翼や保守的な人たちは血相を変えて反対する。夫婦同姓は「日本の伝統」であり「別姓では家族の絆が崩壊する」「嫁が介護をしなくなる」という。

しかし日本の夫婦同姓の歴史はただか120年ほどで、実はたいへん新しい制度なのだ。古来日本では儒教の影響で、中国や韓国と同じく夫婦別姓であった。大河ドラマに登場している北条政子の姓は「北条」であって「源」ではない。室町幕府で夫の8代將軍・足利義政以上の権勢をふるった日野富子もその姓は「日野」であって「足利」ではない。



## 夫婦の別姓を認めずに男女平等はありえない

「夫の家に嫁ぐ」という不平等感を拭い去ることができない。日本政府が夫婦同姓に固執するのは、男系の血統を重視する戸籍制度、すなわち国家のための「家」制度を維持するためである。かつて「家」制度は、徴兵制に利用され、天皇制国家とその下での侵略戦争を支えてきた。これを打破するためにつくられたのが憲法24条(家族における個人の尊厳と両性の本質的平等)である。今日の日本政府のあり方はこれに全く反している。

世界に目を向ければ、夫婦別姓が慣習となっている国でも、同姓を選択できるし、一方、同姓が一般的な国でも別姓を選択できる。先進国の中で、法制上同姓しか認められない国は日本だけだ。日本の夫婦同姓制度は、男性と女性のどちらの姓を選択するかは自由であるが、女性の方が男性の姓を名乗るケースが97%を占める。その場合、戸籍の筆頭者はあくまで男性であり、女性にとっては「夫と平等ではない」



今回の事件がなければカルト宗教と一体になった断政治が隠されたままだったのか。叫び声が暴いたと「扇状地」。(ま)

私の曾祖父の法事のこと、この男性中心の「家」制度に耐え難い屈辱を感じた記憶がある。僧侶が仏壇の前で読経しているとき、男たちが広い座敷の前方を独占し、女たちは遠慮がちに次の間に座らされた。その後、料亭から豪華な会席料理が取り寄せられたが、これを食べることができたのは親戚の男たちだけだった。私たちが女は、まずは掃除に始まって、酒や料理を運ぶなどさんざんこおこなった選択的夫婦別姓にかんする世論調査では、「賛成」が42・5%と過去最多となった。ところが今年3月の調査では「賛成」が28・9%と急落した。17年の調査結果を見て「これはヤバイ」と、政府が「調査内容」を一変させたためだ。意図的な「誘導」の結果である。

このコーナーでは、読者のみなさんから寄せられた紙面への意見や感想を掲載しています。